



## 令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	船橋市立行田西小学校	
ア 全校児童生徒数	472名	(令和5年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	①1～6年生(全クラス)418名 ②2年生(全クラス)60名 3年生(全クラス)74名 5年生(全クラス)62名 あおば(自閉情緒)学級(全クラス)31名 わかば(知的)学級(全クラス)23名 ③6年生(全クラス)63名 ④3年生(全クラス)74名 4年生(全クラス)85名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	①あおば学級(自閉・情緒障害学級)とわかば学級(知的障害学級)担任による障害者理解のための授業 4月 あおば学級とわかば学級の担任が、通常学級全クラスを回り、あおば学級及びわかば学級児童の特性や学校生活について紹介、共に生きる大切さを学ぶ授業を行う。  ②パラスポーツ体験 10月 5年生 卓球バレー(講師:船橋障がい者スポーツ協会) 12月 3年生 ゴールボールPK(外部講師なし)   12月 2年生 ボッチャ(講師:船橋障がい者スポーツ協会) 通年 年間を通し適宜自立活動として実施(外部講師なし) あおば学級、わかば学級 ボッチャ的なゲーム  ③11月 6年生「あすチャレ!ジュニアアカデミー」 パラスポーツ選手の講話を聞いたり、一緒に遊ぶためのルール作りのワークショップに参加したりする。 	

	<p>④講師を招いての人権教育 6月 4年生 認知症サポーター養成講座</p> <p>10月 3年生 人権教室（いじめ根絶）</p>	 
<p>エ 実践の普及啓発 （地域等との交流や 広報方法など）</p>	<p>①学校便りや保護者会（4月）、学校評議員会で、千葉県より「令和5年度心のバリアフリー教育地域拠点校」の指定を受けたことを周知</p> <p>②障害者理解、パラスポーツ体験、人権教育の授業を学校ホームページで随時紹介</p> <p>③6年生「あすチャレ！ジュニアアカデミー」は、「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」を兼ねて行い、近隣6校の小中学校教員及びPTA、学校評議員、地域住民にもご参加いただきご意見を頂戴するとともに、学校便りと学校ホームページでその様子を紹介</p>	
<p>オ 実践成果 （児童生徒の変化など）</p>	<p>①通常学級児童と特別支援学級児童の交流授業では、特性を理解し合い協力して活動しようとする姿勢が多く見られる。</p> <p>②パラスポーツの楽しさを実感し、興味関心が高まった。良さに気付いた。パラスポーツについて意欲的に調べた。</p> <p>③用具やルールを工夫することで、障害の有無に関わらず一緒に活動できることの大切さを実感できた。</p> <p>④他者の思いに寄り添うとともに、友達や家族と助けあって生活をしていきたいという気持ちを育んだ。</p>	
<p>カ 次年度の予定 （課題や改善策など）</p>	<p>①総合的な学習の時間を活用し、パラスポーツについての調べ学習を充実させ、パラスポーツの意義や楽しさを広く周知できるように保護者や地域への発表の場を設ける。</p> <p>②通常学級と特別支援学級児童が交流できる機会を更に増やせるよう、活動場所やルール、役割分担等を工夫し実践できるようにしていく。</p> <p>③学校行事以外にも、定期的な異学年交流の場を増やせるように努める。</p> <p>④心のバリアフリーにつながる出前授業を継続できるよう、保護者や地域にも呼びかけ講師の確保に努める。</p>	
<p>キ 添付資料 （広報資料・Web記事など）</p>	<p>①学校ホームページに、“ウ 実践内容”を随時掲載</p> <p>②学校便り（11月30日発行）に掲載</p>	

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。